

 シラバス参照

タイトル「**2014年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2014年度 教養科目シラバスー2014年度「教養の森」科目群【科目群4】**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	現代日本の表現		
担当教員	佐藤 和正		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	金 2	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年		
科目名（英語表記）	Modern Japanese Expression		
授業のねらい・概要・科目の位置付け	我々の日々の生活にはマスメディアから発される言葉が氾濫している。テレビやラジオ、新聞や書籍、ビデオやCDから流れてくるセリフや歌詞、それらは我々を引きつけ、注目させることを狙って発信された言葉である。それらはどのような仕組みによって我々を引きつけるのだろうか？人を引きつける表現とそうでない表現にはどのような違いがあるのだろうか？この授業ではそうした言葉の魅力について考えていきたい。		
授業計画	01 ガイダンス 02 言葉の意味は文脈から（1） 03 言葉の意味は文脈から（2） 04 消費社会とCM（1） 05 消費社会とCM（2） 06 消費社会とCM（3） 07 1回目のレポートについて 08 虚構とメタ物語的な想像力（1） 09 虚構とメタ物語的な想像力（2） 10 虚構とメタ物語的な想像力（3） 11 芸人から素人へ（1） 12 芸人から素人へ（2） 13 芸人から素人へ（3） 14 過去のレポート紹介等 15 まとめ		
到達目標	言葉に対する感受性を身につけ、感覚的な経験を言葉で表現するための方法を学ぶ。		
成績評価方法	レポート（2回）		
教科書	使用しない。		
参考書			
履修上の注意・メッセージ	・インターネットで調べたことをそのまま出すのがレポートではありません。自分で問題点や論じるべき対象を探し、自分なりの考察を行い、結論を出すのがレポートです。そういった書き方の注意を授業中に行うので、必ずそれを理解した上でレポートを提出してください。 ・留学生向けの授業ではありません。かなり高度な日本語能力を必要とします。		
授業時間外学習	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。		



